

☆米澤会長新年のご挨拶

☆年次総会の開催日程決定される

☆民社OB会総会のご案内

第97号 2003年1月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 田中 慶秋

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号

第5須賀ビル6階

TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行

E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp

購読料 年間 1,000円

(会員の購読料は会費の中に含む)

新年明けましておめでとうございます

皆様お揃いで素晴らしい年をお迎えのことと存じます。

昨年は暗い話題の多い中で、後半になってノーベル賞のダブル受賞と、受賞者の明るい朗らかなキャラクターから、世の中に明るい空気がみなぎり楽しい雰囲気の中かで年を越す事が出来ました。私自身にとっても、衆議院比例代表九州ブロックでの繰上げ当選が決まり、六年ぶりで議席を回復することができ、いい年を迎える事が出来ました。

さて、内外の政情を見る時、内には依然として明るい兆しの見えない経済不況と、小泉首相が唱える聖域なき改革も、言葉のみが先行して遅々として進まず、何時になったらこの閉塞状態から抜けられるのか予測も出来ません。

外へ目を向けますと、中東でのイスラエルとアラブの間の紛争をはじめ、世界各地に広がる紛争や、「テロ」をどのようにして防止し、イラク、北朝鮮などの国が進めていると云われる核兵器、生物兵器など、大量破壊兵器の拡散を防ぐのか、地球温暖化をはじめとする環境問題などなど、解決すべき問題は山積しております。

これらの諸問題は、一朝一夕に解決できるとは思いますが、小泉総理の今の態度を見ておきますと、あまりにも他人まかせで投げやりで、自らの決断、リーダーシップがみられません。一日も早い政権交代を国民は期待しており

ます。

このような情勢の中で、本年は統一地方選挙の年、また、総選挙も予想されております。多くの民社の仲間が、長い間培ってきた「民社の理念と政策」を旗印に選挙戦を戦い、健全な政治勢力を伸ばし、内外から信頼される議会政治を確立するために、一人でも多くの仲間を議会に送り込まなければなりません。

皆様方とともに、闘って、闘って、闘いぬいて、全員が勝利の栄冠を手にしたと思います。

われわれ民社協会は、培ってきた理念・政策を実行に移すことこそが、山積する諸問題を解決し、よりよい日本を創るとの確信と自負を持って、改革に取り組んでまいります。

皆様方のご健勝とご発展をご祈念申上げるとともに、民社協会への更なるご支援ご協力をお願いし新春のご挨拶いたします。

癸未元旦



民社協会会長

衆議院議員

米澤 隆

他役員一同

民社協会年次総会 2月22日開催へ

— 全国町村会館にて —

民社協会は、11月25日(月)16時から、衆議院第二議員会館において常任役員会を開催した。

出席者は、米澤会長・玉置理事長代行・今泉・富田・鎌滝副理事長・田中専務理事・西村常任相談役・事務局2名の9名。

報告事項では、①新理念(欧州視察)中間報告について、②地方議員研修会について、③『政研21』の開催について、それぞれ担当役員から報告された。

①は、12月21日を目途に改革理念研究委員会(委員長・加藤秀治郎東洋大教授)において最終打ち合わせが行われ、以降民社協会側との間で報告の機会を持つこと、その日程は田中専務理事に一任すること、更に結論については「改革者」に掲載し報告書に代えること。②では、地方議員10名の参加を得て盛大に且つ有意義に開催できた。次回は

友愛連絡会の参加を要請することと、国会議員との対話(雑談会的)も考えた方がよいのではとの意見があった。③については、この常任役員会終了後の17時より、『竹中経済改革の問題点について』をテーマに、林直嗣氏(法政大学教授)を講師として、参議院議員会館・特別会議室にて開催する。

以上が報告・了承された。

協議事項では、以下の問題について協議した。

(1)年次総会開催日程について

(2)統一地方選挙対策委員会の開催について

その結果、

(1)については、2月22日(土)に開催することとし、準備を進める。

(2)については、12月13日(金)14時より選対委員会(委員長・平田健二)を開催し、2003統一地方選に関する各地方協会の推薦状況の把握と、今後の取り組みについて協議すること。以上が確認・了承された。